

第8次高松市行財政改革計画(案)に係るパブリックコメント実施結果

本市では、令和2年2月21日から3月19日までの期間、「第8次高松市行財政改革計画(案)」についてのパブリックコメントを実施しました。

いただきました御意見の要旨とそれに対する考え方及び対応を、以下のとおりまとめましたので、公表いたします。

(1) 意見総数 3件(3名)

(2) いただいた御意見(要旨)とそれに対する考え方及び対応

※ 提出いただいた御意見は、趣旨を変えない範囲内で簡略化又は文言の調整をさせていただきます。

なお、計画案と直接関係のないと考えられる御意見については、公表していません。

No.	御意見(要旨)	御意見に対する考え方・対応
1	現在、高松市はファシリティマネジメントの推進に対して、全庁横断的な組織になっていない。新たな部署を作るのは、時間を要するので、高松市には、ファシリティマネジメント推進室があるようなので、ワンストップ窓口とすれば良い。	御意見の趣旨につきましては、ファシリティマネジメントを推進していく上で、とても重要な視点と認識しておりまして、本計画では、p53の「ファシリティマネジメント推進プロジェクトチーム」において、全庁横断的に取り組むこととしております。
2	高松市では従来型の公共工事しか行われておらず、他の自治体で実施されているPFI事業は1件も実施されていない。 PFI事業で施設を整備した場合、「VFM(Value For Money)効果」が高いことが多く、実施体制や全庁的な勉強会も開くべきである。PFI事業の実績の多い先進都市などの事例を研究されたい。今の時代、PFI事業を利用することは、行政改革に必要である。	本市では、今年度から「PPP/PFI優先的検討規程」を運用し、対象となる事業について、基本構想等の策定段階で「VFM効果」を含めた検討を行うこととしております。 御意見の趣旨を踏まえ、p53「ファシリティマネジメント推進プロジェクトチーム」の取組として、「○民間活力の導入(PPP/PFI手法)の優先的検討」を実施内容に追加しました。

	<p>更に、「民間資金活用型 ESCO 事業」などを行財政改革のメニューに必要である。「ファシリティマネジメントの推進など、全庁横断的に徹底した歳出削減に取り組みます。」というのであれば、具体的な取組が現在の（案）には盛り込んでいない。</p>	
<p>3</p>	<p>p 6 の「社会構造の変化により増大・多様化する市民ニーズに的確に対応するため、常に市民の視点に立ち、市民が真に必要としているサービスを適切に提供します。」、p 7 の「質の高い行政サービスを持続的かつ効果的に提供するため、行政サービスを受ける市民の視点に立ち、ICT やデータの活用等により、業務の効率化にとどまらない改革を推進します。」という記述について、そのツールとしてコールセンターは十分機能すると思う。</p> <p>既にコールセンターを導入している市役所などの事例を十分に研究し、神戸市が導入している「チャットボット」も併せて、コールセンターを導入することを強く望む。</p>	<p>チャットボットについては、実施項目「ICT等を活用した業務改革」において、検討することとしております。コールセンターについては、一部の業務で設置していますが、その適用範囲の拡大に伴う効果を検証する中で、具体的な検討を行うこととした場合には、新規実施項目として本計画に追加登載することといたします。</p>